

報告書

Why don't you know Ibaraki? ～そうだ！茨城を知ろう！～

1. 概要

(a) 目的

コロナ禍のため、在日の国費留学生が日本人や日本の文化と触れる機会が少なくなっている現状がある。茨城県青年国際交流機構の会員と繋がりが強い筑波大学にも国費留学生がおり、留学生に日本の文化に触れる機会を提供する。また、日本人学生と留学生の繋がりを形成することで、日本人学生には国内で国際交流する機会を提供する。

(b) ターゲット

筑波大学に在籍している国費留学生（JICEで把握している人数は28名）。大学院に正規学生として在籍している。東南アジアからの留学生が多い。

イベントに参加が想定される日本人学生は筑波大学に在籍している学生を主な対象とするが、特にオンラインのイベントにおいては年代や在籍先を問わず、茨城に在住の日本人を対象とする。

(c) 実施方針

どのような交流に需要があるかを留学生に調査し、状況に合わせてオンライン、オフラインを併用しつつ、イベントを実施する。なお、オフラインで行う際には感染症対策を講じたうえで、少人数での開催とする。

また、日本人学生に対しては英語のレベルに応じて運営メンバーがサポートをしつつ、積極的な交流を促す。両者がイベント外においても有効な交友関係が築けるよう、両者のコミュニケーションを重視したイベント構成とする。

2. スケジュール

イベント名	実施日
Restaurant IBARAKI	2021/9/1(水)、5(日)、8(水)、12(日)、15(水)、19(日)、23(木)、26(日)、29(水)、10/2(土)、2022/3/6(日)
Tea Ceremony	2021/11/7(日)

3. 活動報告

(a) Restaurant IBARAKI

1 概要

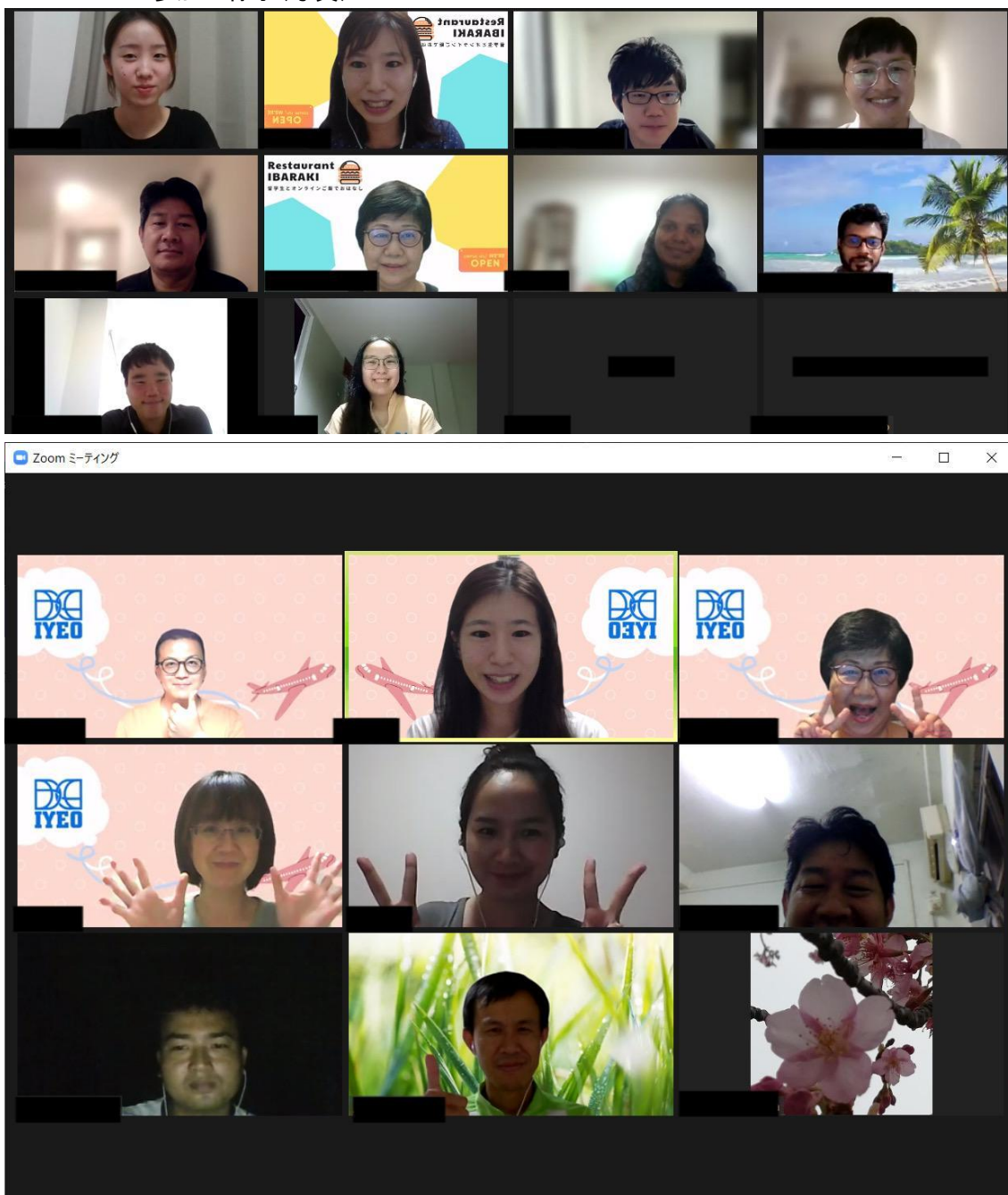
オンラインでの留学生と日本人の会話やゲームを通して留学生が日本の文化に触れたり日本人と関わる機会を提供した。イベントは英語を基本とし、必要に応じて日本語訳を付ける等のサポートを行っていた。

日本人は筑波大学生をはじめとし、学生や茨城県青年国際交流機構のメンバーを指す。実際に筑波大学以外の大学生の参加もあった。1回1～2時間程度とし、時間帯をTea TimeやDinner Timeにすることで食事をしながら会話ができるようにした。そのためイベント名をRestaurant IBARAKIとした。

9月中は茨城県青年国際交流機構の会員であるRestaurant IBARAKIの運営メンバーが最初に自身や自分の地域のことについてパワーポイント等を用いて発表し、それについて会話を深めた。また9月下旬には参加者から母国の発表をして頂く回もあった。

また、ゲームは無料でできるオンラインゲームを行った。言語を必ずしも必要としないゲームであったため、英語に自信のない方でも気軽に参加できた。

2 参加の様子(写真)



(b) Tea Ceremony

1 実施日時

2021年11月7日(日) 10:00～15:30

国費留学生:7名参加

2 場所

NAMICHIDORI 波千鳥

住所:〒305-0034 茨城県つくば市小野崎437-1

電話番号:029-851-9361

3 目的

筑波大学に在籍している国費留学生を対象に、希望者を募り、日本の有名な文化、茶道を体験していただく。また、留学生が日本の文化に触れたり、日本在住の学生と交流したりする機会を提供する。

4 スケジュール

時間	場所	プログラム
9:15	つくばセンター	スタッフ集合
9:35	バスターミナル	関東鉄道バス乗車
9:38頃	小野崎南バス停	下車
9:55	波千鳥着	参加者集合
10:00	波千鳥	茶道体験開始
12:00	波千鳥	茶道体験終了

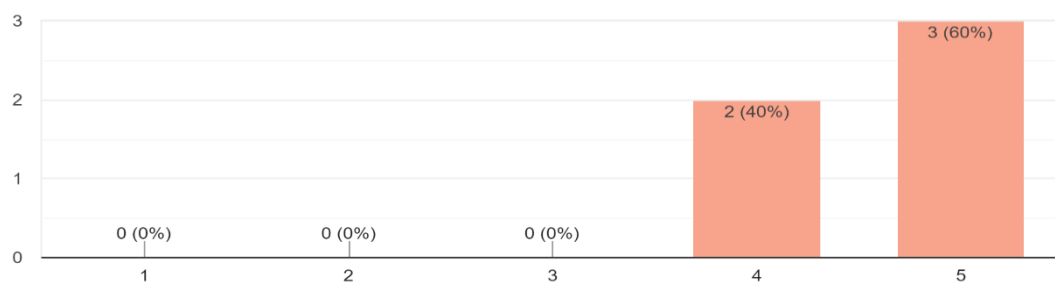
5 アンケート

イベントに対する満足度

(1:非常に不満足、5:非常に満足)

How satisfied were you with the event?

5件の回答



質問①:このイベントでの学びや、良かったところは何ですか？

- ・ 特にお茶を作る日本の文化について学ぶことができた。茶道の作法等を知ったのは初めての経験だった。また友達を作ることができた。
- ・ 様々な人々に会って、基本的な日本の伝統的な茶道を体験することが出来た。
- ・ 日本の文化を体験し、たくさんの人から刺激を受けた。またこのようなイベントに参加したい。
- ・ 異文化体験ができた
- ・ 茶道の作法や茶道の考え方を学んだ。心が浄化された気持ちになった。

質問②: イベントの改善点があればお願いします。

- ・ いいイベントだった。
- ・ イベント中に日本の伝統的な衣装も着ることができたら、もっと魅力的なイベントになると思う。

6 運営スタッフの振り返り

- ・ 初めての対面イベントということで、無事に終わることが出来るか不安はあったものの、留学

生がどのようなことに興味を持っているのかも知る良い機会となった。

- ・ 留学生が普段はどのような生活をしているのか理解することで、今後のIYEOとしての取り組みについても考える機会を持てた。
- ・ 茶道の所作を通し、スタッフ自身も知らなかった、重んじている日本の心を改めて知ることができた。

7 参加の様子(写真)

